

グループ桂台通信

第175号 2012年4月
発行 グループ桂台
責任者 中村涼子
電話・FAX 894-2735

[グループ桂台は生活支援の非営利団体です]
事務所: 〒247-0033 横浜市栄区桂台南 1-9-2
グランボア 湘南桂台自治会事務所内
URL <http://www.katuradai.com/katuradai.html>

目次

- 1面: 第16回定期総会のご案内、年会費納入のお願い
- 2面: 近隣の有料老人ホーム情報 (藤沢市)
- 3面: 健康アドバイス わがまちの名医から
最近のリウマチ治療 (その2)
- 4面: 3月度活動実績、ひとりごと他

第16回グループ桂台定期総会

定期総会を下記のとおり開催します。

日時: 5月12日(土) 午後1時30分~2時30分

受付: 午後1時10分から

場所: グランボア 2階 洋室5

* 総会資料と委任状は、グループ桂台通信4月号と一緒に配布します。

* 総会欠席の方は、委任状の提出をお願いします。

委任状提出〆切日: 5月11日(金)

提出場所: 湘南桂台自治会室外の赤い郵便受け (グループ桂台用)

◆ 年会費納入のお願い ◆

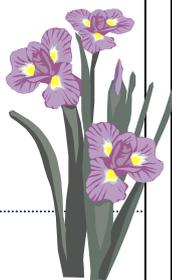
年会費(1000円)は4月24日(火)~5月11日(金)

午後1時~4時まで、事務所にて受け付けます。

ただし、土・日・祝祭日は除きます。

総会当日も受け付けます。

会員の皆様のご協力をお願いいたします。



協力会員募集中です!

地域での支えあいにご協力をお願いします。

〈問合せ〉

グループ桂台事務所

☎894-2735

月~金 午後1時~4時

ただし、土・日・祝祭日・
第3金曜日は除きます。

❖❖ 近隣の有料老人ホーム情報（藤沢市） ❖❖

施設名	クロスハート 湘南台・藤沢	クロスハート 石名坂・藤沢	シニアメゾン 大庭	シニアメゾン 湘南台
連絡先	0120-607-013	0466-84-3033	0120-805-084	0120-805-084
種別	介護付有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム
入居時費用	550 万円	50 万円	180 万円	180 万円
月額費用	18 万 5000 円	15 万 4000 円	22 万 7000 円	22 万 9200 円
開設	平成 17 年 5 月	平成 22 年 8 月	平成 19 年 5 月	平成 20 年 7 月
運営事業者	(社福) 伸こう福祉会	(社福) 伸こう福祉会	(株) ユーミーケア	(株) ユーミーケア
入居要件	自立 要支援・要介護	自立 要支援	要介護	要支援・要介護

施設名	藤沢エデンの園 二番館	サンフォーレ 鵜沼	ニチイの きらめき藤沢	ベストライフ 湘南台
連絡先	0466-86-9100	0120-79-3400	0466-29-6631	0120-515472
種別	介護付有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム
入居時費用	338 万 2000 円～ 2525 万円	790 万円～ 956 万円	0 円～ 100 万円未満	180 万円
月額費用	12 万 6000 円	24 万 1500 円～ 26 万 2500 円	10 万円～ 15 万円未満	14 万 5000 円
開設	平成 23 年 4 月	平成 9 年 3 月	平成 19 年 11 月	平成 16 年 4 月
運営事業者	(社福) 聖隷福祉事業団	(株) サンフォーレ	(株) ニチイ学館	(株) ベストライフ
入居要件	自立 要支援・要介護	自立	60 歳以上	自立 要支援・要介護

施設名	グランダ本藤沢	グランダ藤沢本町	メディカルホーム グラニー辻堂	グラニー 湘南台・藤沢
連絡先	0120-17-1165	0120-17-1165	0120-17-1165	0120-17-1165
種別	介護付有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム
入居時費用	892 万円 5000 円	892 万円 5000 円	0 円～525 万円	0 円～1155 万円
月額費用	18 万 5500 円	18 万 5500 円	21 万 2500 円～ 29 万 5500 円	19 万 5500 円～ 59 万 5500 円
開設	平成 16 年 11 月	平成 17 年 1 月	平成 8 年 11 月	平成 13 年 12 月
運営事業者	(株) ベネッセ スタイルケア	(株) ベネッセ スタイルケア	(株) ベネッセ スタイルケア	(株) ベネッセ スタイルケア
入居要件	自立 要支援・要介護	自立 要支援・要介護	自立 要支援・要介護	自立 要支援・要介護

選んではいけない有料老人ホームのめやす

- ・ 契約前に契約書などサービス内容や入所後の管理規定などの重要事項説明書を渡さない。
- ・ 見学の際の説明やパンフレットなどの説明資料に、サービスについてイメージできる具体的な説明がなく、漠然と安心を促すような抽象的な表現ばかりが使われている。
- ・ 入所先の決定において大きな判断材料となる体験入所を受付けない。 など

わがまちの名医から

最新のリュウマチ治療（その2）

進藤医院院長 進藤捷介氏

* リウマチ 最新の治療 *

以前の治療は、「痛み止め」を使って、痛みを取るだけであった。その「痛み止め」で、胃が痛くなったり、食欲がなくなったり、胃炎や胃潰瘍になったりしていた。

その上、指やひじなどの骨の変形を、防ぐことは出来ませんでした。

その後、「金」を使った治療が導入されましたが、肺疾患などの副反応があり、その効果も限られたものでした。



そんな中、ここ4~5年の間に、新しい治療が考えられ、実用化されました。この新しい治療とは、体で起きた異常な免疫反応を、元にもどし、正常化する方向に進んできています。

リュウマチを元から治す、根本的な治療の始まりです。

痛みをとると同時に、体内での異常な免疫反応を改善し、壊された骨を元のように再生する治療です。

指や、膝、腰の骨を、正常化させ、その動きをも正常に近づけるもので、元気な時の生活に近づけることが出来るようになってきた。

これにより、日常生活も、他人の助けを借りずに、自分で、自分のことが出来るようになって来ます。

旅行も出来、編み物、庭の手入れなどの趣味も、元のように出来るようになって来ます。

痛みや、動きにくさから解放され、普通の生活が出来ることが、いかに楽しいものかを、実感できるようになって来ました。

着替えも、トイレも、入浴も、食事の支度も、買い物も、外出も、旅行も。友人との会話も楽しいものになる。



良いことばかりを書いてきたが、欠点や副反応も出ることがあります。

これの副反応を起こさず、痛みや、動きの悪さを克服するように、医師は細心の注意をし、いろいろな検査で、副反応を早期に見つけ、これを避けながら、この治療を行うのが、医師の役目であり、腕の見せどころです。

そのために、多くの医師と情報交換を行い、研究発表に参加して、医師自身が多くの知識を身につけ、自分を磨いてゆくのです。

これにより、安心して、患者さんをリュウマチから救うのです。

今回は、この治療の、欠点や、それを克服することについて話をします。

会員のみな様へ

《活動会員のチケット精算日》
4月27日（金）午後1時～4時まで

- * 第2期 栄区地域福祉保健計画「さかえ・つながる」通信第5号にて、地域で定期的に活動しているボランティアとしてグループ桂台が紹介されました。
- * 日本赤十字社より使い捨て手袋をご寄付いただきました。協力会員の方で活動に必要な方は事務所へいらして下さい。



3月度会員数・活動実績

(平成24年3月31日現在)

会員数		
協力会員	利用会員	賛助会員
89名	104名	99名
活動実績	利用者数	19名
	活動員数	20名
家事支援（掃除・料理）	79件	118.5時間
介助（通院等）・介護	12件	18.0時間
その他	3件	9.0時間
合計	94件	145.5時間
事務局電話当番	20日	60時間

地域のみな様へ

サロン「ぶらっとオアシス」

日時：5月10日（木）午後2時～4時
場所：桂台地域ケアプラザ
多目的ホール

参加費：200円

内容：詩と朗読 健康体操
みんなで歌いましょう

連絡先：城戸謙治 894-2715

皆さんの参加をお待ちしています。

《ミセコン「店コンサート」》

日時：5月19日（土）午後2時から

場所：イトーヨーカ堂桂台店 2F

演目：大正琴 ほか

活動報告

- 3/01 サロン「ぶらっとオアシス」
- 3/04 グループ桂台役員会
- 3/07 コーディネーター会議
- 3/13 グループ桂台通信3月号発行
- 3/14 横浜市社協
福祉ボランティア・社会活動部会
- 3/17 サロン運営委員会
/17 ミセコン「店コンサート」
- 3/21 内越さん「ボランティア活動についての研究」のため来所
- 3/26 湘南桂台自治会総会資料印刷
/27 湘南桂台自治会総会資料印刷
- 3/28 栄区社協評議員会
- 3/31 Nネットワーク桂台勉強会
「認知症について」

ひとりごと

数年前から、「ありがとう」という言葉を心がけて言うようにしている。以前は何かしてもらったときに、他人には言っていたかもしれないが家族に対して「ありがとう」という言葉をあまり言っていなかった。

最近の我が家は、この言葉によって平穏だった。しかし、先日、夫と些細なことから口喧嘩をしてしまった。私の心に余裕がなく、ついキツイ言葉を言ってしまったのだ。自分から素直に謝れず、気まずい空気が流れていた。でも、夫が「ありがとう」と言ってくれた。その一言でわだかまりが消えた。やっぱり、「ありがとう」は魔法の言葉だ。

ボランティアを始めて十数年、大勢の方から「ありがとう」という言葉をいただいた。この言葉をいただくと心が満たされてくる。多分、ボランティアを続けられるのもこの言葉のお蔭にほかならない。

さあ、これからもいっぱい「ありがとう」を言っていこう！



K,T

編集委員：中村(涼)・佐藤(恵)・天明(清)・奥山・鈴木(靖)